

清水じまんフェスティバル、大成功！

静岡北特別支援学校中学部2年生から「清水のことを教えて」と依頼を受けて「任せて！」と、頼もしく返事をしたことから始まった「清水じまんフェスティバル」。これまで学習してきた清水の自慢をもっと調べて、清水の自慢を伝え、一緒に盛り上がりとう企画し、準備と練習を繰り返して、当日を迎えました。

清水じまんフェスティバル、当日の様子

歓迎和太鼓演奏



静岡北特支の仲間へ歓迎の和太鼓演奏です。最後は、全員で「やー！」と声を出し、盛り上げました。

清水港と清水みなと祭りの歴史



みなと祭り実行委員長の山田さんが宇崎竜童さんに、港かっぽれをつくってほしいとお願いするシーンは静岡北の仲間も「なるほど。」と納得でした。

「清水七夕祭り」の紹介



戦後の復興祭りとして始まった清水七夕祭り。「みんなが笑顔でいられますように。」と全員でセリフを言うシーンが見所でした。

清水港かっぽれ



静岡北の仲間も誘って、みんなで自慢の清水港かっぽれを踊りました。前に出て見本を見せながら踊る生徒もいました。

フェスティバル後は、中庭でお弁当を食べました。

帰りのバスに乗り込む静岡北の仲間を見て、「バイバイ」ではなく『またね』にしよう！と生徒会長が提案し、また会えることを願って、みんなで「またね。」とお見送りしました。清水じまんフェスティバルは大成功でした。

